

2015

平成27年3月 - 2

今月の情報



E-mail: honbu@otedama.jp

● お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

● たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL: 0897-32-0302

FAX: 0897-32-0311

裏面の3月ー1のつづき

たとえば、あなたは1分間の即興英語スピーチを、一度も言い間違えずにできたことがあるだろうか？
過去1年間で、10キロ以上の距離を、ランニングしたことがあるか？
短く簡単でいいから、コンピュータ・プログラムを書いたことがあるか？
挑戦のネタは、ほんの少し考えれば、いくらでも転がっている。「自分には無理」だと思い込まずに
挑戦し、乗り越えることで、脳の回路が活性化し、脳を若々しく保つことができるのである。
自分は若いからまだ大丈夫と油断していると、将来、高齢になってから後悔することになる。
脳も体も、鍛えるほど強くなる。若いうちにさぼっていると、加齢とともに、急に衰えがくることもある。
「まだ大丈夫」と油断せずに、「挑戦」を通して脳回路を強化しておくことが、たのしい「脳の老後」
に備えることにも通じるのである。

茂木健一郎(もぎ・けんいちろう)さんのプロフィール

脳科学者。1962年、東京都生まれ。東京大学 理学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学博士専攻博士課程修了。第4回小林秀雄賞 を受賞した『脳と仮想』(新潮社)のほか、著書多数。

日本のお手玉の会が定める段位認定審査 小六の笠野真由さん(和歌山市)が 3段にみごと合格 地元紙が一面トップで紹介

和歌山のお手玉の会



和歌山市立三田小学校6年生の笠野真由さんが、平成26年9月、日本のお手玉の会の3段に認定されました。そのことが、11月5日付の地元紙「わかやま新報」の1面トップ記事として、「お手玉3段に合格～笠野さんが県内小学生初」の見出しで紹介されました。

また、このことは、和歌山放送のラジオのニュースでも取り上げられました。

真由さんは、祖母の西本伸子さん(和歌山のお手玉の会会員)からお手玉を習い、家族ぐるみでお手玉をしています。真由さんは、「お兄ちゃんよりも上手になりたい」と、毎日、お手玉の成功回数を記録するなど、努力をつづけました。

真由さんは、和歌山のお手玉の会が行った段位認定審査で、1回で3段に合格しました。真由さんは、「お手玉を失敗しないでつづけると、気持ちがすっきりします」といっています。

和歌山のお手玉の会としては、お手玉を小学生のうちからつづけてくれていることは、昔ながらの遊びを伝える私たちにとって、とてもうれしいことです。これからの活動の励みにしています。

(和歌山のお手玉の会)

【訂正】 日本のお手玉の会の会報『おてだま』No.33の記事で「小三の笠野真由さん」とあるのは「小六」の誤りです。訂正してお詫びします。